

第25回参議院議員選挙・候補者に公開質問状を送付

7月21日(日)に投票された第25回参議院議員選挙の立候補者に、公開質問状を送付しました。送付の対象となったのはFAX番号などが判明した261人の候補者で、そのうち74人から回答を頂きました。主な送信方法としてはFAXを使用し、一部メールやWebサイトのメールフォームも活用しました。

で住民投票を行うことに、賛成ですか？
反対ですか？

※問1、問2についての理由や補足など、ご意見を自由に記述してください。

●問3―原発稼働以外で、国民投票にかけることがふさわしいと思う課題があれば、記述してください。

問1、問2について、政党別に回答の傾向を見ていきます。

【自由民主党】

全候補者81人に送付し、回答があったのは宮城県の愛知治郎氏のみ。「原発」国民投票・住民投票ともに「反対」。「原発立地自治体と都道府県で住民投票が行われた場合、異なる結果が出た場合どちらを尊重するのか問題が生じる」という理由は、宮城県民投票への議会での反対討論と軌を一にするものでした。

【公明党】

候補者24人のうち13人に送付しましたが、どなたからも回答がありませんでした。なお、公明党Webサイトに記載の

ない比例立候補者11人については、送付対象外としました。

【立憲民主党】

候補者42人のうち41人に送付し、12人から回答がありました。10人が国民投票に「賛成」で、11人が何らかのコメントを記載。おしどりマコ氏は「事故影響範囲」をそれぞれの原発で評価し「その『事故影響範囲立地自治体』での議論、投票を提案します」と記載。小田切達氏は再稼働の是非判断に「最低でも国民投票および立地自治体の住民投票は必要」。亀石倫子氏は「投票運動で資金力のある側が有利に」ならないよう「何らかの措置を講じる必要があるのではないか」。市井沙耶香氏は「国民投票法の附則に従って、一般的な国民投票制度について検討していく」。また、安田真理氏も亀石氏と市井氏の提示した両点について記述。

【国民民主党】

全候補者28人に送付し、7人から回答がありました。「原発」国民投票・住民投票に対して、「条件付き賛成」が2人、

「どれでもない」が5人となり、同じ元「民進党」でも賛成が多い立憲と差異が出ました。にしゃんた氏は「条件付き賛成」の理由として「投票権者やCM・ネット広告規制、運動資金規正など多様な意見が公正かつ平等に扱われるように整備は必要」。六戸千絵氏、原谷那美氏、田村麻美氏、鈴木覚氏、藤川武人氏の5人が再稼働について、避難計画の作成と地元の合意を必須とするというポイントを指摘。

【日本維新の会】

全候補者22人に送付し、4人の方から回答がありました。あらかき大樹氏は「国民主権であるから、主権者の意思を示すべき」とコメント。くわはらくみこ氏は、「原発はエネルギー政策の為にあっては、安全保障の為に続けているのは明らか」。

【社会民主党】

全候補者7人に送付し、吉田ただとも前党首を含め全員から回答がありました。「原発」国民投票・住民投票に賛成

質問項目は次の3つです。

●問1―「原発」国民投票の是非

原発稼働の是非を問う国民投票(「原発」国民投票)を実施するための手続法を制定することについて、あなたは賛成ですか？反対ですか？

●問2―「原発」住民投票の是非

福島第一原発の事故以降、これまで東京都、大阪市、静岡県、新潟県、埼玉県、愛媛県八幡浜市、宮城県で原発稼働の是非について住民投票を求める直接請求の運動が行われてきました。また今後も茨城県などで運動が予定されています。

あなたは、自分の選挙区または事務所所在地から一番近い原子力発電所について、都道府県単位または基礎自治体単位

自由民主党 (1名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
愛知治郎	宮城県		反対	反対

立憲民主党 (12名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
勝部賢志	北海道	◎	賛成	賛成
小田切達	青森		賛成	賛成
加藤千穂	栃木		賛成	賛成
増原ひろこ	京都		賛成	賛成
亀石倫子	大阪		賛成	賛成
安田真理	兵庫		賛成	賛成
原田謙介	岡山		どれでもない	どれでもない
石川大我	比例	◎	賛成	賛成
おしどりマコ	比例		賛成	賛成
岸まきこ	比例	◎	条件付き賛成	賛成
深貝とおる	比例		賛成	条件付き賛成
市井沙耶香	比例		賛成	賛成

国民民主党 (7名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
原谷那美	北海道		どれでもない	どれでもない
穴戸千絵	埼玉		どれでもない	どれでもない
にしゃんた	大阪		条件付き賛成	条件付き賛成
田村麻美	比例	◎	条件付き賛成	条件付き賛成
中沢健	比例		どれでもない	どれでもない
鈴木覚	比例		どれでもない	どれでもない
藤川武人	比例		どれでもない	どれでもない

日本維新の会 (4名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
奥田真理	比例		どれでもない	どれでもない
森口あゆみ	比例		条件付き賛成	条件付き賛成
あらき大樹	比例		賛成	賛成
くわはらくみこ	比例		賛成	賛成

社会民主党 (7名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
相原りんこ	神奈川		賛成	賛成
朝倉れい子	東京		賛成	賛成
平山良平	愛知		賛成	賛成
大椿裕子	比例		賛成	賛成
仲村みお	比例		どれでもない	どれでもない
吉田ただとも	比例	◎	どれでもない	賛成
矢野あつこ	比例		どれでもない	どれでもない

日本共産党 (26名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
島山和也	北海道		どれでもない	賛成
伊藤岳	埼玉	◎	どれでもない	賛成
浅野史子	千葉		どれでもない	賛成
吉良佳子	東京	◎	どれでもない	賛成
浅賀由香	神奈川		どれでもない	賛成
鈴木千佳	静岡		どれでもない	賛成
須山初美	愛知		どれでもない	賛成
倉林明子	京都	◎	どれでもない	賛成
辰巳孝太郎	大阪		どれでもない	賛成
金田峰生	兵庫		どれでもない	賛成
高見篤己	広島		どれでもない	賛成
河野祥子	福岡		どれでもない	賛成
梅村さえこ	比例		どれでもない	賛成
しばかずゆき	比例		どれでもない	賛成
井上さとし	比例	◎	どれでもない	賛成
藤本友里	比例		どれでもない	賛成
伊藤達也	比例		どれでもない	賛成
小久保剛志	比例		どれでもない	賛成
沼上徳光	比例		どれでもない	賛成
青山了介	比例		賛成	賛成
下奥奈歩	比例		どれでもない	賛成
佐藤ちひろ	比例		どれでもない	賛成
有坂ちひろ	比例		どれでもない	賛成
伊藤理智子	比例		どれでもない	どれでもない
松崎真琴	比例		どれでもない	賛成
山本千代子	比例		賛成	賛成

れいわ新選組 (7名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
野原ヨシマサ	東京		賛成	賛成
山本太郎	比例		賛成	賛成
はすいけ透	比例		賛成	賛成
大西つねき	比例		賛成	賛成
辻村ちひろ	比例		賛成	賛成
三井よしふみ	比例		賛成	賛成
渡辺てる子	比例		賛成	賛成

労働の解放をめざす労働者党 (2名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
菊池里志	比例		条件付き賛成	条件付き賛成
吉村二三男	比例		賛成	賛成

無所属 (8名)

氏名	選挙区	当選	問1	問2
横沢高德	岩手	◎	どれでもない	どれでもない
うち越さくら	新潟	◎	条件付き賛成	条件付き賛成
藤井幹雄	和歌山		賛成	賛成
中林よし子	鳥取・島根		どれでもない	賛成
ながえ孝子	愛媛	◎	条件付き賛成	条件付き賛成
松本けんじ	徳島・高知		条件付き賛成	条件付き賛成
合原ちひろ	鹿児島		反対	反対
タカラ鉄美	沖縄	◎	賛成	賛成



の回答が多いのが特徴。吉田ただとも氏は「被害地元となる周辺県の意見も尊重されるべきである」とし、大橋裕子氏は「原発は命に関わる重大な問題」だから主権者が住民投票で決定するのが適当とし、『住民自治』からも認められるべき」。

【日本共産党】

全候補者40人に送付し、26人が回答。回答の数は共産党が一番です。ほとんどの方が「原発」国民投票には「どちらでもない」、「原発」住民投票には「賛成」、コメントでは野党共同提案の「原発ゼロ基本法案」の成立を訴えています。ただ、比例の青山了介氏と山本千代子氏は「原発」国民投票にも「賛成」と回答。青山氏のコメント「富山県でも、北陸電力志賀原子力発電所の敷地内に活断層の存在が指摘されているのに、北陸電力はあくまでも再稼働をすすめる構えです。住民の意思を示すことが必要だと思います」。

また、浅野史子氏は東海第二原発について「過酷事故が発生した場合、千葉県民に及ぼす被害は計り知れません」「情報の全面開示を前提にして県民の声を聞く必要があると思います」。比例候補だが茨城で活動する梅村さえこ氏も「原発」住民投票に「賛成」として、コメン

トでは東海第二原発についても触れていません。

【れいわ新選組】

全候補者8人に送付し、安富歩氏以外の7人が回答。何れも「原発」国民投票・住民投票に賛成、コメントはなし。代表の山本太郎氏はかつて当会の賛同人であり、原発都民投票の直接請求では請求代表者を務めました。ただその後、「国民投票・住民投票をすると脱原発派は負ける」という理由から賛同人を辞め、過去の公開質問状でも「反対」を明確にしていました。今回、山本氏がどのような理由で「賛成」にしたのか、ぜひ伺いたいところです。

【無所属・諸派】

無所属候補8人、労働者党2人から回答がありました。無所属の8人は、何れも1人区の野党候補です。「賛成」のうち越さくら氏は、国民投票、住民投票だけでなく「立地および周辺自治体・議会による関与の強化など、原発政策をめぐる民主的枠組みの重層的な構築・整備」の重要性を指摘。「条件付き賛成」のながえ孝子氏は「国民の間で熟議が行なわれることが条件として必要」。「反対」の合原ちひろ氏は「二者択一を国

民(住民)に委ねてよい課題ではありません」等。

問3については、立憲の石川大我氏が「同性婚」、維新のあらき大樹氏は「憲法改正(教育完全無償化、道州制)」などの回答がありました。あまり記述をしていただけませんでした。

なお、今回質問状への回答はいただけませんでした。当会の国会請願で紹介議員になっていただいた山田太郎氏が自民党・比例から立候補して、当選を果たしています。

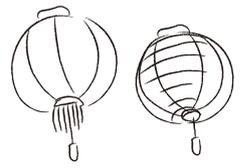
ここでは多様なコメントを全て紹介することはできません。個別の回答については、ぜひ当会Webサイトの特設ページ (<http://kokumintohyo.com/archives/11831>) をご確認ください。また、賛成、反対に関わらず、回答をいただいた全ての候補者に感謝を申し上げます。(運営委員長・鹿野隆行)



2019年参院選
公開質問状回答
特設サイト

政党別回答状況

	自民	公明	立民	国民	共産	維新	社民	れいわ	労働者	無所属	総計
賛成	0	0	10	0	2	2	4	7	1	2	28
条件付き賛成	0	0	1	2	0	1	0	0	1	3	8
どれもない	0	0	1	5	24	1	3	0	0	2	36
反対	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
総計	1	0	12	7	26	4	7	7	2	8	74



台湾：国民投票その後



次回国民投票は2021年8月に

2018年11月に原発や同性婚など10の議題で国民投票を実施した台湾。次回の国民投票は総統選挙と同時、2020年の1月と予想されていましたが、今年の6月に公民投票法が改正され、次回実施は2021年の8月まで延期となりました。

公民投票法が改正された結果、大きな選挙と同時に実施するという項目がなく、二年に一回、8月に国民投票を実施することが定められました。これにより、台湾の政治日程は「2020年、総統選、立法員選」「2021年、国民投票」「2022年、統一地方選」「2023年、国民投票」と一年おきに選挙と国民投票とが繰り返されることとなります。また、短すぎると批判のあった告示から投票までの期間が28日から90日になり、ラジオでも賛否の広報が流されるなどの改正も盛り込まれました。

国民投票実施が延期されることになる法改正に、野党である国民党や原発推進

団体「以核養緑」は強く反発し、台北市内では大きな反対集会が開催されました。しかし、政治的な思惑を別にして評価するならば、全体的に議論がより深まることを目的とした妥当な改正であったと思います。

昨年の国民投票の結果「2025年までに脱原発」という法律の条項は削除されたものの、建設中の第四原発の処遇は決まっておらず、台湾の原発政策の行方には決着がついていません。そんな中、原発推進、反対の両方の観点から国民投票実施のための提案がされており、次回国民投票で改めて原発の是非が問われることは確実です。選挙と実施が切り離されることなどによって原発の是非を問う国民投票への関心がより高まり、議論が深まり、そして台湾の人たちが納得のいく選択ができることを切に望みます。

同性婚を認める法律制定

昨年11月の国民投票では同性婚反対派の議案が勝利を収めたものの、事前に司法院大法官會議（憲法裁判所に相当）の

判断で指示されていたとおり、同性婚を認める立法が今年の5月になされました。国民投票の結果に従って民法改正では同性婚を規定せず、代わりに同性婚専用の法律（司法院大法官第748号解釋施行法）が制定されました。この法律では養子縁組や外国人との結婚などの一部項目を除き婚姻に関する民法の規則が準用されたため、課題はあるもののLGBT団体等からは好意的に受け止められたようです。この辺りについては、裏表紙でご案内のイベント（9月15日、神戸）で詳しい話が聞けると思います。

世界フォーラム開催

今年の10月2日から5日かけて、台中市内で「2019 GLOBAL FORUM ON MODERN DIRECT DEMOCRACY」が開催されます。当フォーラムは2008年に開始され、昨年は現政府が直接民主主義の法整備を進めているイタリアで実施されました。台湾の国民投票・住民投票は、世界からも注目を集めています。

（運営委員長・鹿野隆行）



国民投票法改正草案の審議を伝えるテレビ



台北市で開催された国民投票法改正に反対する集会

各地の活動

●愛知―サマーセミナーで講座開催

7月14日、愛知サマーセミナー2019で「名古屋城のエレベーターは住民投票で！」と題した講座を開きました。参加者は7名。

世界の国民投票・住民投票および日本の住民投票の実施状況について話し、日本の住民投票制度と実施方法について説明。身近なテーマについて、間接民主主義が機能しない場合には「積極的に住民投票を活用してはどうか」と提案しました。身近なテーマの一例として「名古屋城の木造再建計画でのエレベーター非設置方針」を題材に、「住民の意見を聞く姿勢なく決定を押し通そうと進める市政運営に対しては住民投票を行うのも一案」という話をし、ディスカッションを行いました。

市民に熟議は可能か、情報開示が十分なかで正しい議論ができるか、情報操作による誤った結論への誘導が行われな
いか、少数者に関する問題について住民投票で結論を出すのは不公平ではないかといった意見が出されました。また、「エレベーターの設置よりも、名古屋城の立て替え自体を問題にすべき」と、投票の

テーマ立てに関する意見も出ました。

住民投票自体に懐疑的な意見が多かったことは勉強になりました。日本で住民投票・国民投票が当たり前のようになり社会になるには地道な活動が必要と考えさせられました。

●東京―原発再稼働と向き合う各地の動きを学習

6月23日、小集会「『原発』住民投票を求める最新の直接請求の動き」私たちにできること」を開催しました。いばらき原発県民投票の会共同代表・徳田太郎さん、静岡県民投票静岡代表・中村英一さんを招き、原発再稼働を問う各地の住民投票直接請求をめぐる最新のリアルを語り合いました。

はじめに当会運営委員長・鹿野隆行から女川原発再稼働の是非を問う県民投票直接請求運動について報告。法定署名数約4万筆を大幅に超える有効署名数11万1743筆を集めながら、県議会会で住民投票実施が否決された流れについて共有しました。

徳田氏からは今年10月の署名開始を目標に県内全域で「住民投票フェス」を連続開催、東海第2原発再稼働について住

民一人ひとりが考えをめぐらせる機会をつくるべく奮闘している状況が報告されました。2018年実施の茨城大学・渋谷敦司教授による調査では、原発再稼働の要件である「地元同意」に十分に参画できていない現状に対するフラストレーションが生じていることが明らかにされています。人々の実感を基盤とし、地域における重要課題について直接投票で決める機会を通じ、「民主主義の共通体験」

のプラットフォームを創る」をテーマに活動しているとのことでした。既成の政治活動や市民団体に頼らず一人ひとりの実感に訴え、様々な立場の人々が緩やかにつながることを目指す、その地道な活動の機運が感じられました。

島根原発再稼働を控えた鳥取県米子市（人口約12万人）・境港市（人口約4万人）でも、再稼働の是非を問う住民投票を求める活動が始まっています。2016〜2018年度全国で住民投票を求める直接請求は23件行われましたが、議会会で住民投票条例が可決され実施されたのはわずかに1件。住民投票実施のハードルは高く、この制度的困難に向き合いつつ、各地で民意を重要事項に反映させようとする奮闘は続いています。

●大阪―都構想住民投票の動き

2015年に実施され、僅差で「反対」の民意が示された「大阪市廃止分

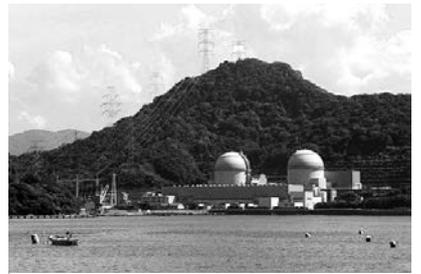
割の是非を問う住民投票」（いわゆる都構想住民投票）。大阪維新の会が求めている都構想住民投票に、自民党公明党が2019年5月に容認の姿勢を示し、2020年秋以降に再度同じ住民投票が行われる可能性が高まっています。先の住民投票からわずか5年、大阪市民が再投票を求めた訳ではなく、また議案もほぼ同じで前回の住民投票結果はどこへいったのか疑問です。

当会関西チームは2015年の住民投票終了後に、声明と提言「より公正で公平な住民投票実施への提言」を発表しました（<http://kokumintohyo.com/archives/9891>）。再度住民投票が行われる場合には、①〜⑤の提言が改善されているか注視したいと思えます。（本村）

- ①実施期間90日へ大都市法の改正を
- ②ともに暮らす外国籍の方に投票資格を
- ③市民の自由な街頭活動を保障
- ④CMは賛否両論に平等な放送枠を
- ⑤投票用紙の設問は公正で正確な文言を



2015年、投票当日の街頭活動



高浜原発



上関原発建設予定地



浜岡原発

●福井―「原発銀座」若狭の現状

福井県の若狭湾沿岸は「原発銀座」と呼ばれ関西電力の高浜原発1・2・3・4号機、大飯原発1・2・3・4号機(1・2号機は廃炉)、美浜原発1・2・3号機(1・2号機は廃炉)、日本原子力発電の敦賀原発1・2号機(1号機は廃炉)、日本原子力研究開発機構のふげん(廃炉)・高速増殖炉もんじゅ(廃炉)と15基の原発が集中している。1960年代から原発誘致の計画があり1970年には美浜1号機・敦賀1号機の運転がはじまった。原発建設には硬い岩盤、大量の水、広い敷地、地元住民の理解が必要だとされている。若狭のほぼ中央、小浜市では市民の反対で原発誘致、使用済み核燃料貯蔵施設誘致が阻止されたが、どうして若狭に15基もの原発が建設できたのだろう。運転期間が40年を超える原発の再稼働・廃炉作業、増え続ける使用済み核燃料の処分など問題が山積している。関西

電力は福井県内の原発の使用済み核燃料を県外で中間貯蔵・処分するための中間貯蔵施設計画地点を18年に公表するとしていたが、20年に先延ばししている。和歌山県、京都府に中間貯蔵施設を建設する計画もあったが、地元は反対している。1960年代から和歌山県の4地区、兵庫県でも原発建設が計画されたが地元も反対もあって建設を断念。近畿2府4県(大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県)に原発はない。(山崎)

●上関原発建設をめぐる動き

7月26日、山口県は、中国電力が計画する上関原発建設予定地の公有水面埋め立て免許を3年6カ月延長する申請について許可した。中国電力に対し、原発本体の着工時期の見通しがつくまでは埋め立て工事に入らぬよう求める要請書も手渡した。中国電力は延長申請の際、埋め立て工事3年間に加え、工事海域での活断層の有無を調べるボーリング調査に6カ

月間が必要としていた。県は、ボーリング調査を実施していないことは埋め立て工事ができない合理的な理由にあたるほか、国の重要電源開発地点に指定され、土地需要も引き続きあると判断した。県の許可に対して反対する建設予定地対岸の祝島住民達が県庁前に集まり抗議の声を上げた。

7月31日、環境保護団体は、建設予定地である田ノ浦湾で、環境省の海洋生物レッドリストで絶滅危惧に分類され、「生きた化石」とも呼ばれる「ヒガシナメクジウオ」17個体が見つかったと発表された。中国電力は近く湾内でボーリング調査を予定しているが、団体は「生息域が直撃される」として調査の中止を求めた。団体の共同代表は「ボーリング地点に高密度で生息していることが明らかになった。保全対策をしなければ調査に着手すべきでない」と主張した。(宮本)

●浜岡原発に関する地元意識調査

静岡大学情報学部の中澤高師研究室が「浜岡原発の再稼働と地元合意について意識調査」という活動を行った。意識調査は浜岡原発の再稼働をめぐる地元合意、県民投票をテーマにして行われ、無作為抽出した静岡県内の男

女5043名に送付し、そのうちの2052名が回答した(3月7日発送、3月8日～4月10日集計)。

その結果、再稼働の是非について、賛成が21・4%で反対が48・6%。地域別では賛否に大きな差はなく、男性より女性の賛成割合が低かった。若者の方が賛成が多く、特に10代、20代では賛否が拮抗していた。

一方、県民投票の実施については71%が賛成であった。地域別では大きな差はなく、女性と若い世代で賛成が多かった。再稼働賛成と答えた人のうち70・2%が県民投票実施に賛成した。意識調査後は、回答者による対面型とオンライン型の2つの方式の議論イベントを行い、併せて100人以上が参加。対面型イベントは、開始前アンケート、小グループ議論、専門家からの回答、小グループ議論、終了時アンケートという流れで進められた。

Webサイト(<https://lap.inf.shizuoka.ac.jp/>)には、意識調査結果やイベントの概要資料があるほか、「議論のための論点資料 浜岡原発の再稼働と県民投票」では県民投票についての様々な論点が整理されている。(鹿野)

原発をめぐる状況



熱い民主主義・台湾の国民投票報告 ～脱原発、LGBTなどをテーマに激論～

香港民主化活動の影響を受けて脱原発派・独立派への支持が増え、昨年11月の国民投票に続き、来年1月総統選にむけて熱い台湾。国民投票法や同性婚合法化などにコミットしてきた台湾緑の党が来日し全国スピーキングツアーを行います。台湾のメンバーからは台湾国民投票の現状について報告いただきます。当会からは鹿野運営委員長が日本の原発政策をめぐる住民投票の現状について報告します。

日本台湾のコラボ企画にぜひご参加ください。

- 日時: **2019年9月15日(日)**
14:00～16:30(開場13:30)
- 会場: 葺合文化センター中会議室2
(神戸市営地下鉄 新神戸駅 徒歩4分)
<http://www.kobe-bunka.jp/facilities/fukiai/>
- 参加費: 500円
- 問い合わせ: 090-4030-1219(井奥)
主催: 台湾国民投票報告会 実行委員会

ゲスト



台湾緑の党中央執行委員
易俊宏(イ・ジュホン)さん



新竹県竹北市議
陳冠宇(チェン・グアンユー)さん

編集後記



アイデアが生まれていく、そんな予感が
します。
(井奥)

米子(鳥取)に住民投票準備会の取材に
行ってきました。大阪から高速バス約4時
間、乗り換えなしです。車に相乗りして行
けばもつとらくちん、関西チームで応援ツ
アーを考えています。八幡浜にも、仙台に
も行きましたが、米子と境港もその二箇所
に負けず劣らず、魚が美味いなあ(そこ
か!)。そのうえ大山牛に大山鶏、鳥取野
菜も・・・と浮かれている場合じゃない。これ
偶然ではなく、原発立地の問題点ですね。
西日本のみなさん、一緒に応援に行きま
しょう!
(大音)

高浜・美浜・浜岡原発が近県にある東海
地域で今のところ原発住民投票の動きは
ありませんが、新城市(2015年、新市
庁舎建設計画)、小牧市(2015年、市
立図書館建設計画)、高浜市(2016
年)で身近なテーマについて住民投票が行
われています。議会で否決された投票条例
案(2017年・半田市、2018年・
小牧市)もあり、「みんなで決めよう」の
機運は高まりつつあるのではと感じて
います。
(渡邊)

「原発」国民投票運動の運動を通じてい
ろいろな人との出会いがありました。
出会った人々には民主主義に対する熱い
想いと物事に対する柔軟な姿勢が共通し
ていると思います。月2回のネット会議で
は新しい視点や行動のアイデアが生み
出されます。一昨年に私が言いだしっぺで
始まったヨーロッパの国民投票を学習する
連続講座もそうして生み出されました。
今年9月に実施される台湾の国民投票報
告会はいわばそのアジア版とも言えるもの
です。今後も出会いの中でこうした新しい

みんなで決めよう「原発」国民投票 会報誌

MINT 第12号 ミント 第12号

2019年8月30日 発行

発行: みんなで決めよう「原発」国民投票
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
かわさき市民活動センター レターケース No.36
TEL: 070-5369-9707 (PHS)
e-mail: gkokumintohyo@gmail.com
web: www.kokumintohyo.com